

# 町立大淀病院のあゆみ

第6号

町役場 総務課

☎ 0747-52-55001

## 町立大淀病院の始まり

昭和27年ごろ、従来県北部の医療機関に依存していた吉野郡南和地域の医療を取り巻く状況を改善するため、町内に総合病院の建設を要望する声が高まりました。

これを受け、病院の建設に向けて事業が進められ、昭和30年2月、町立大淀病院として内科および外科を設置した病床数30床の本館を開院しました。その後、産婦人科、耳鼻咽喉科、整形外科、眼科、放射線科と診療科を増設し、昭和45年には総合病院として承認されるに至りました。



▲病院本館完成(昭和44年12月)

## 災害を乗り越え発展

病棟の新築と本館の改築が進められるなか、昭和34年には伊勢湾台風の直撃により吉

野川が氾濫し、床上2メートル以上の浸水被害を受けました。また、昭和37年には火災の発生により本館が焼失し、病棟を一時閉鎖するなど多大な被害に見舞われました。このような災害のたびに、復旧に向けて再建が進められました。



▲伊勢湾台風による被害(昭和34年9月)

## 地域医療の中心として

平成に入ると、町の人口増加や医療技術の高度化に伴い、大淀病院でもMRIやCTスキャナーなどの最先端の医療機器が導入されたほか、診療科では皮膚科、麻酔科、地域医療連携室、フットケア外来、禁煙外来、精神科を開設するなど、患者のニーズに寄り添いながら、より一層地域の医療サービスを充実させていきました。

## 南和地域医療体制の見直し

平成22年、南和地域の医療体制において、医師や看護師の不足や経営状態などの問題に対応するため、南和の医療等に関する協議会が設立されました。そこで、南和地域全自治体で病院を支える仕組みが見直されました。これにより、五條病院・吉野病院・大淀病院の3病院による病院機能の再編が行われ、南奈良総合医療センターが新設されました。新センターの開院に伴い、平成28年3月、町立大淀病院は閉院を迎えました。

## 新拠点として次の時代へ

新センターは現在、南和地域の中核病院として、救急医療や災害医療、へき地医療の拠点としての役割を担っています。また大淀病院跡地では、町立認定こども園の整備等、これからのまちづくりの拠点として、跡地整備が進められる予定です。

## 町立図書館から臨時休館のお知らせ 休館期間：6月1日(火)～30日(水)

町立図書館では6月中、図書館システムの更新と図書特別整理のため臨時休館します。この期間中は図書館の利用はできません。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。なお、休館中の図書の返却は、返却ポストを利用してください。

おはなし会および朗読会は右記の通り、町文化会館ひだまりホールで行います。

町立図書館 ☎ 0747-54-2120

### ●こどものためのおはなし会

☐ 6月12日(土) 午後2時30分～

☐ 6月20日(日) 午後3時～

### ●大人のための朗読会 響

☐ 6月27日(日) 午後2時～

- ・「紫陽花」 著 / 高樹のぶ子
- ・「まだまだしたいことばかり」 著 / 岸本葉子
- ・「思いもうけて…」 著 / 向田邦子 ほか

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止・変更する可能性があります。

